

風水害への備え

日頃からの備え

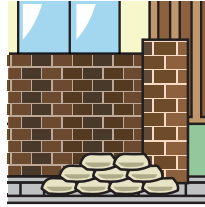
家屋の点検

雨漏りはもちろんのこと、強風によって鉢植え、物干し竿などが飛散しないよう日頃から家屋全体を点検及び整理整頓しておきましょう。



簡易な浸水防止

洪水ハザードマップから浸水地域を把握し、「土のう」「水のう」「止水板」を準備しておきましょう。



非常食料等の確保

避難情報が出された時、ただちに避難できるように、非常用備蓄品(最低3日~1週間分)や非常用持出品を準備しておきましょう。



避難する前に確認しましょう

情報の収集

- ・テレビ、ラジオ等の気象情報に注意しましょう。
- ・防災行政無線や広報車の呼びかけに耳を傾けましょう。



家具の点検

大切な家財道具はできるだけ高い安全な場所へ移動しましょう。



道路冠水に注意

内水氾濫・アンダーパス等、道路冠水場所には注意し、浸水したらただちに避難しましょう。



河原にいた場合

急な増水や土砂災害の危険があるので、雨が降りだしたり、遠くで雷が聞こえたら、川から離れましょう。



洪水時の避難方法

水平避難

市から出される避難情報などに応じて、近くの避難場所に避難しましょう。



垂直避難

屋外への避難が危険と判断した場合は、自宅の上層階や近隣の高層ビル等の建物に避難しましょう。



避難するポイント

1 靴は履きやすいもので

裸足や長靴は危険です。運動靴等を利用しましょう。



2 歩ける深さ

大人でも水深50cmを超えると歩行が困難になり、流速があると20cmでも更に困難となります。



3 ロープ等の活用

避難時は、はぐれないようにロープで体を結びましょう。4人以上の場合は小グループに分けましょう。

